プリンセス 小公女セーラ

第13話

『つらい仕事の日々』

AR台本

企　画
制　作　日本アニメーション株式会社

プリンセス
小公女セーラ

第十三話　『つらい仕事の日々』

登場人物

セーラ……………島本須美
ベッキー…………鈴木三枝
ミンチン先生……中西妙子
ロッティ…………渡辺菜生子
アーメンガード…八百板万紀
ピーター…………坂本千夏
ジェームス………郷里大介

モーリー……………向殿あさみ
マリエット……………高木早苗
ラビニア……………山田栄子
ジェシー……………飯塚はるみ
ディファルジュ（声）…………上田敏也
馭者……………
シーザー……………山田栄子

カメラ	画面		音声
1	夜の空の見える天窓　黒い雲が流れて行く		
2	はげおちた壁の塗料		
3	火のけのないダンロ		
4	エミリーを抱いて粗末なベッドに座っているセーラ　見廻している		
5	見廻していたセーラ、エミリーをいとおしそうに強くだきしめて頬をすり寄せる		セーラ　「エミリー……私たち今夜からこの屋根裏部屋でくらすことになったのよ」
6	セーラなめてエミリー　頬をつけ合っている		
7	不安げな表情で見上げるセーラ		セーラ　「あなたがよくすわっていたゆりいすも……私の勉強机も……もう私たちの物ではないの」

8	PAN← BG・ONLY PANすると風にガタガタ鳴る 窓		セーラ(off)「……ここはもう別な世界なのよ」
9	涙がにじんでいるセーラ　淋しげな表情　はっとなり、息をのむセーラ		S・E　（ゴトリ、ゴトリ）
10	耳をすますセーラ		
11	恐怖にかられ、立ち上がり、首をちぢめ、あたりをうかがう T・U		セーラ　「はぁっ」 S・E　（音強くなっていく）
11	揺れる窓		
12	ダンロ		
13	後ずさりする足		
14	暗い室内にいるセーラ		
15	後退するが、はっとなって止る		S・E　（音、明確になる〈足音〉）

16	ドアの下から洩れるほのかな明りが動いている　灯りの動き止る（ゆらゆらのみ）		S・E（足音止る）
17	目をこらし、うかがい見るセーラ		
18	ゆっくりと前に出ていくセーラ		
19	ほのかにもれる灯りをのぞきこむセーラ		ベッキー(off)「（すすりなきの声）クスンクスン」
20	起き上がり、怪訝な表情で言葉を発すセーラ		セーラ「ベッキー?!」
21	ベッキーの足許　手に包みと燭台をもっている　涙を浮べ、しゃくり上げている		ベッキー「クスン、クスン、ハ……ハ…イ…！」
22	喜色が浮び、前に出るセーラ		
23	扉をあけるセーラ		S・E（ガチャ）

24A	喜びのセーラ		セーラ「ベッキー!」
24B	ベッキー、セーラを見て悲しみをこらえる　うつむいていく(涙をかくすため、斜めうつむく)		ベッキー「お……お嬢さん!!」
25	こみ上げてくるセーラの喜び前に出るセーラ		セーラ「ベッキー……やっぱり来て下さったのね…… 〜 ……さ……入って!!」
26	傍にいき、やさしく肩に手をかけるセーラ　セーラを見て、微笑が浮んだ顔をするベッキー　にっこりとするセーラ　二人、中へ入る		
27	部屋の中へ入ってくるベッキー　扉をしめるセーラ　見廻すベッキー、燭台を差し上げて		
28	ガタガタしている天窓　たれ下った糸がゆれている　黒い雲が流れていくのが見える　ローソクに照らされて明るい		

29	くもの糸がキラキラと光る		
30	部屋を眺め回すベッキー		
31	悲しげな顔で見ているベッキー ベッキー、溢れてくる涙　うつむいていく　一滴落ちる涙をふりはらうように前へ出るベッキー　一歩前に出るセーラ		ベッキー「こんな……こんなひどいお部屋に……ローソクもなしで……おひとりで……」 セーラ　「ベッキー……!!」
32	壁際におかれたテーブルの上に荷物と燭台をおくベッキー 手をついて嗚咽している　うつむき、震えている肩と手		ベッキー「クスン、クスン、お嬢様!……私……私……今日一日…… ～ ……ずっと泣いてたんでございます……台所で……」
33	目に一杯の涙		
34	悲痛な顔のセーラ		セーラ　「……」
35	泣いているベッキー　エプロンをつかんで涙を拭くベッキー 振り返る		ベッキー「……お嬢様が……こんなめに逢わされるなんて……いくらなんで、ひどすぎます……」

シーン	画面		台詞
	セーラ、ベッキーに近づき		セーラ　「ベッキー!!」
36	セーラ、手肩にまわし、ベッキーを抱く 泣き声のベッキー セーラ、首を振る		セーラ　「有難とうベッキー、私のためにそんなに心配してくれて……ベッキー」 ベッキー「……私……お嬢様がお気の毒で……」 セーラ　「ベッキー……私前に、あなたに話した事があったわ」
37	?となった顔を上げる		ベッキー「え……?!」
38	にっこり微笑むセーラ　T・U		セーラ　「……私も、あなたも同じ女の子なんだって……」
	O・L		
39A	ベッキー、得意そうに話す		ベッキー「私、前に田舎でプリンセス様のお通りを見たス……お嬢様を見てると、あの時のプリンセス様にそっくりで……」
39B	セーラ、少し困惑気味に びっくりするベッキー		セーラ　「まあ……私、自分をプリンセス様みたいだなんて思った事は一度もないのよ」 ベッキー「え……」
39C	セーラ、ベッキーに判りやすく		セーラ　「だって、私もあなたも、同じ女の子

	説明する		でしょ……私が今のセーラで、あなたが今のベッキーだなんて」
39D	口にもって行こうとした手を止めて		セーラ(off)「生れた時のただの偶然だと思うの」 ベッキー「グウゼン……？」
39E	セーラ、自信に満ちて		セーラ「そうよ……だって、もしかしたら ～
39F	ベッキー、きょとんとする		(off) 私があなたで、あなたが ～
39G	セーラ、説明して		私に生れてたかも知れないでしょ」
39H	ベッキー、こまった表情		ベッキー「そ、そんな、お嬢様」
39I	セーラ、説明つづける		セーラ「でもね、私、時々他の誰かになったつもりになる事があるの……」
40	O・L ベッドに座っている二人		セーラ「……あの時は深く考えていたわけではなかったけれど、私には ～
41	セーラを見るベッキー		(off) 今、それが本当だって、はっきりわかって来たの……」

42	セーラもベッキーを見て		セーラ「だって、ほら……私はこの通り、すっかり変ってしまったわ……。 ～
43	茫然ときいているベッキー		(off) あなたとちっともちがわないわ……私も屋根裏に住む同じ女の子なのよ。 ～
44	セーラ、淡々と喋る		だからベッキー、もう私のために心配して下さらなくてもいいのよ」
45	ベッキー、再び涙があふれる ベッキー、激しく首を振る 目を伏せて うつむいていく		ベッキー「お嬢様……お嬢様は…… お嬢様は変ったりなんかなさっていません……。どんな事が起ったって、お嬢様はプリンセス様なんです……。 ～
46	ひざの上でぎゅっとにぎりしめられるベッキーの手		(off) いいえ、誰がどう言ったって、私だけはそう決めているんでございます……」
47	セーラ、やさしく		セーラ「ベッキー……」
48	ベッキー、顔を上げて		ベッキー「私、明日から毎朝お嬢様のお世話に参ります。 ～
49	〝えっ？〟っとなるセーラ		それから、

	部屋を見わたして セーラ、困惑する と包をとり上げて、ベッドにおき、ひろげる		この部屋のおそうじもしなくては……」 セーラ「そんな……」 ベッキー「そうそう、大事な物をおもちしました」
50	現われる本、馬、オカリナ、小箱		
51	セーラ、見る		ベッキー「お誕生パーティーでお忘れになって…。 〜 (off) 私、後片づけの時気がついて、かくしておいたんです」 セーラ「まあ……」
52	"まーぁ"っと見ているセーラ		
53	ベッキー、袋をセーラにわたす セーラ、受け取り、礼を言う		ベッキー「それから、マリエットさんにたのんで、お嬢様の着がえを……この中に…」 セーラ「ありがとう、ベッキー」
54	ベッキー、立ち上って アウトするベッキー　セーラ、立ち上って目で追う		ベッキー「では、お嬢様、明日また、お日様といっしょに起きなければなりませんので……」

55	ベッキー、ベッドのうしろの壁へまわり込む　セーラを見て手を上げる		ベッキー「なにか御用が有りましたら、この壁を叩いて下さい」
56	壁を叩くベッキーの手　三回たたく　手おろす		S・E　（トン、トン、トン）
57	セーラの方に少し体を向けて		ベッキー「この壁の向う側に私のベッドがございます。いつでも飛んで参りますから」
58	もう一度礼を言うセーラと行きかけるベッキー		セーラ（背中）「ありがとう、ベッキー」 ベッキー「では、ローソクを置いてまいりますから」
59	セーラ、ベッキーに ベッキー、立ち止って と戸口へ　セーラ、見送る ベッキー、戸を開け、ふり返り		セーラ「でも……あなたが……」 ベッキー「いいえ、私は、暗いのはなれてますから」 ベッキー「では、おやすみなさいませお嬢様…」
60	セーラ、ベッキーを見つめて ベッキーの戸をしめる音		セーラ「おやすみ、ベッキー……」 S・E　（パタン）
61	一人になるセーラ、つぶやく		セーラ「それから……本当に……ありがとう…」

62	ゆらゆらもえるローソク		
63	リボンの小箱　#－11と合わせる		
64	セーラ、座って、小箱を手にとって、リボンをほどく		
65	ふたを開けると、馬の焼物が出てくる　T・U		
66A	食堂　セーラを囲んで、手に手に贈物を持った生徒たち ロッティがセーラに近づく		
66B	ロッティ、進み出て、紙包みをセーラに渡す		ロッティ「セーラ・ママ……これ、私のプレゼント」
66C	紙包みを開くセーラ 中からつまみ出すと……		セーラ　「まあ、なにかしら」 ロッティ「ウフフ、セーラの大好きなものよ」
66D	小さな焼物の子馬		セーラ(off)「まあ、可愛い！」

66E	セーラ、ロッティに礼を言う		セーラ「ありがとう、ロッティ」
66F	躍り上って手をたたいて喜ぶロッティ　拍手する生徒たち		ロッティ「わあい……」
67	馬を見ているセーラ　馬をおろして本を見る　T・U		
68A	食堂　アーメンガードが包装した本を持って、オズオズ前へ進む		アーメンガード「これ…… お父さんが、読めって送って来たけど、 難しくて駄目なの」
68B	本をセーラに渡す		一同「（笑い声）」
68C	セーラ、ニッコリして礼を言う　勢いよくドアが開く　音にそちらを見るセーラ		セーラ「ありがとう、アーメンガード……」 S・E（ガチャ）
69	セーラ、本を置いて、オカリナをとる		

70	オカリナを見ているセーラ T・U		
71A	ためらっていたピーター、思いきって小さな紙包みをセーラに差し出す		ピーター「は、はい……あの、お嬢様……これ、お祝にと思って、市場で買ってきたんです」
71B	紙包みを渡すピーター セーラ、紙包みを開いてオカリナをとり出す ピーターの方を見て		セーラ「まあ……」 セーラ「ありがとう、ピーター」
71C	照れるピーター ガートルード、小声でジェシーにたずねる		ピーター「へ…へへへ」 ガートルード(off)「あれなんなの？」 ジェシー「オカリナよ……。 ～ 箱なんかに入ってるから何かと思ったら……」
71D	ガートルード、いたずらっぽく言う　三人、笑う		ガートルード「きっと、どこかで捨ってきたんじゃないの」
71E	嘲笑に困惑するピーターとベッキー		ガートルード「ヒヒヒ……」 ジェシー「ハハハハ」

72	オカリナをみつめるセーラ 浅くT・U		セーラ「ロッティとも、アーメンガードとも、
73A	馬		(off) 〜〜〜もうお友だちでは
73B	本		(off) 〜いられなくなってしまったんだわ」
74	オカリナをみつめるセーラ 壁を叩く音　はっとなって、壁 を見るセーラ　にっこりとして オカリナ置いてベッドに上る		S・E　（トン、トン、トン）
75	壁を見つめるセーラ		
76	壁		S・E (off)（コツ、コツ、コツ）
77	セーラ、ノックしようと手を上 げてためらう　又、聞こえる		S・E (off)（コツ、コツ）
78	セーラの手、壁を叩く		S・E (off)（コツ、コツ）
79	ベッキーの部屋　壁に耳をつけ ているベッキー		S・E (off)（コツ、コツ）

80	ベッキー、ほっとして壁から顔を離してため息をつく 安堵の表情で眠りにつく		ベッキー「フーッ」
81	毛布をかぶり、寝るベッキー		
82	直した古いイスにキチンとおかれた洋服　チギレた毛布とそろえておかれた木靴		
83	ほっと溜息をつくセーラ		セーラ「フーッ」
84	セーラ、向き直って、一人微笑む T・U		セーラ「ベッキーがいてくれるわ……今の私にはベッキーだけが最后のお友だちなんだわ……」
85	ジジジ……火がゆれて弱まっていく		
86	ゆらめく影　はっとなって見る セーラ		セーラ「あっ」
87	一瞬明るくなって、すーと消え		

	るローソク　室内、暗くなる		
88	暗い室内		S・E(off)（風の音、扉のガタピシ）
89	夜のロンドンの屋根又屋根 →PAN　遠くセントポール寺院も見える　外灯（ガス灯もちらちらしている）		
90	夜の街　ガス灯のみがまたたいている　ごみが風に舞っていく 炎セル		
91	ミンチン学院の前		
92A	シーンとした学院内		
92B	階段付近		
93	屋根裏部屋　セル		S・E（ゴソゴソ）〜〜〜
94	屋根裏部屋・室内		

95	おびえているセーラ　とっさに傍のエミリーを抱く		S・E　（激しくなる）
	A・C		
96	強くエミリーを抱く　カット尻、上を見るセーラ		
97	ゆれるくもの巣のざんがい		S・E　（チューチュー）
98	はっとなって壁の方に逃げるセーラ		S・E　（ネズミの声、大きくなる） セーラ　「はっ！」
	A・C		
99	壁に身を寄せるセーラ		
100	天窓		
101	セーラ、後ずさって壁にぶつかる　ボロ毛布をとって、くるまり、ふるえる		
102	室内に拡がっていくネズミの声		
103	夜の天窓　風もやんでくる		

	T・B 明るくなっていく（BG、中O・L） スモッグがたなびいている		
104	C－89兼用 早朝 スモッグにかすむロンドン PAN←		
105	スモッグにかすむテムズ河とウエストミンスター橋とビッグベン		
106	ミンチン学院前		S・E （スズメの声）
107	東の空、明るくなり始める（陽が昇ったのだろう） スズメが遊んでいる屋根		
108	室内・天窓 スズメが飛んでいるのが見える		
109	毛布の乱れた上にちらばっている贈り物 T・B エミリーを抱き、毛布にくるまって寝てい		S・E （スズメの声、大きくなってくる）

	るセーラ　うっすらと目を開けるセーラ、部屋を見回す		
110	明るくなっている室内		
111	見廻しているセーラ　下の方を見る		
112	ちらばっている贈り物		
113	毛布を脱ぎ、ベッドを下りるセーラ　エミリーを置き、ひざの上に贈り物をのせる　天窓を見上げる		
114	天窓　スズメが遊んでいる		
115	セーラ、上を見上げていたが、あたりを見廻して、机を引いてくる		
116	エミリー人形		S・E（カタン、ゴトン）

カット	画面		音
117	机の上にイスを乗せているセーラ　机の上に昇り、上を見上げるセーラ		
118	天窓　手がうちにかけられる　セーラ、現われる　金具をいじり、窓を押す		
119	開けられる窓　スズメ、舞い上る　顔を出すセーラ　舞い飛ぶスズメ　セーラの目、スズメを追う　引っこむセーラ　舞いおりてくるスズメ　のぞき見るセーラ、にこりとする　目を移す		
120	あそぶスズメ　と、となりの家が見える		S・E（汽笛、ポ――ッ）
121	家々の間を走っていく列車が見える（スモッグ、たなびいている）		←〜〜
122	風に舞う髪　見つめるセーラ		

	セーラ、目を転ずる		S・E　（汽笛、ポ――ッ）←〜〜
123	屋根　PAN→　立ちのぼる煙 ロンドンの風景		
124	にっこりとスズメたちに手を振って窓をしめる　窓の回りを舞うスズメ		
125	背のびしていた足をもどす テーブルの上におりるセーラ		
126	足元がふらついて、箱が動く 燭台ゆれる		
127	ぐらぐらして、落ちる		セーラ　「ああ」 S・E　（ドタン）
128	床をころがる燭台　止まる		
129	舞い上るホコリ　むせるセーラ 壁を叩く音 はっとなるセーラ		セーラ　「ゴホゴホ」 S・E(off)（コン、コン、コン、コン） セーラ　「あっ」

	立ち上り、壁の方へ急いで行く		
130	セーラ、inして壁を叩く		セーラ「大丈夫よ、ベッキー……」
131	ベッキーの部屋　ベッキー、〃ほっ〃として壁から離れる		ベッキー「フーッ」
132	壁からはなれ、手前に手で服のほこりをはらうセーラ 椅子をおろす　ノックの音がして、返事するセーラ		S・E　（トントン） セーラ「はい……」
133	ドア開くとベッキー		ベッキー「お早うございます、お嬢様」
134	顔かがやくセーラ		セーラ「お早よう、ベッキー」
135	ベッキー、入って来る		
136	ベッキーin　ストップ この通り、と服をポンとたたく		ベッキー「あの、お召し変えのお手伝いを」 セーラ「まあ、ベッキーったら、私がこの通り、着たきりだってこと、まだ判ってないのね」 ベッキー「あ、そうでございましたね」

	二人、笑う	二　人「フフフフ……」
137	ベッキー、セーラを見つめて	ベッキー「では、お部屋のお掃除の方を……」
138	セーラ、ベッキーを見つめて	セーラ「いいのよ、ベッキー……これからは何でも自分でやらなければいけないんですもの。ここは私がやるわ」
139	ベッキー、心配そうに	ベッキー「でも、お嬢様は、御自分でお掃除などした事が……」
140	セーラ、ニッコリと	セーラ「大丈夫、出来ると思うわ。それより、あなたは下でお仕事が始まる時間でしょ」
141	ベッキー、思い出したように説明する と、ベッキーからほうきとバケツをとる	ベッキー「は、はい……モーリーさんやジェームスさんが起きて来る前に、台所の火を起したり、掃除を……」 セーラ「ではもう行かなくては……」
142	ベッキー、戸の方へ行く	ベッキー「では、お嬢様、申し訳ございませんが」

143	見送るセーラ　戸の閉る音		S・E（バタム）
144	向き直ってバケツを置き、はき始めると、たち上るホコリ		
145	はげしくせきこむセーラ		セーラ「コホン、コホン」

＜Aパート・おわり＞

150	朝のミンチン学院の横の樹木に小鳥が遊んでいる　春の葉をつけている樹　壁にうつる樹木の影		S・E（小鳥の声、チュン、チュン）
151	一階と二階の間の踊場の窓木の影と鳥の影が映っているアメリアが一階から二階へと昇っていく		（こぼす）←

152	二階の廊下を振鈴を振りながら手前にやってくるアメリア		S・E　（振鈴の音）〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜→
153	掃除が終った屋根裏部屋　木の箱を前にして、うずくまっているセーラ		
154	エミリーを箱の上に乗せ、写真を見つめているセーラ　顔を上げる——耳を澄ます		
155	淋しげな表情で扉の方を見つめるセーラ　——間——　大きく吐息して、がっくりとうなだれる		（振鈴止る） セーラ　「はあーッ！」
156	スカートを握りしめるセーラの手		
157	セーラ、唇をかみ、辛さをこらえていたが、やおら顔を上げる 手をのばし、エミリーを抱きしめる　頬すり寄せるようにして		セーラ　「……授業が始まる時間なのね。……もう私たちには……関係のない事なのよ……」

	強く抱くセーラ　つむった目は淋しそう		
158	壊れかかったテーブル　ウレタンの飛び出たマット　破れた毛布と枠の壊れたベッド		
159	荒れた床　部屋の風景		
160	エミリーを抱きしめて、話しかけるセーラ　一寸明るい顔になり、エミリーを差し上げる		セーラ　「エミリー……私、院長先生の所にうかがわなくてはいけないの。……そうよ……私、今日から働くの……。 ～
161	エミリー人形		(off) ～ だから、淋しいでしょうけど…… ～
162	エミリーのひたいに優しくキッスをするセーラ		～ 独りでここでまっていてね……」
	A・C		
163	台の上にエミリーをそっとおいて、立ち上るセーラ		
164	セーラ、立ち上る　部屋を見回して天窓を見上げる		

165	天窓　B G・ONLY　光が差し込む		
166	天窓を見上げているセーラ 扉の方へ行き、開けて振り返り、 エミリーを見た感じで扉をしめる		S・E　（ガチャ、ガチャ）
167	扉の把手から手を離し、前方を見る　床近くに明りとりの小窓からさしこむ明り以外は、明るいところはない　暗い中を歩いていくセーラ		
168	暗い中を手前に歩いて来るセーラ　手前に来て柱に手をかけ、うなだれ、柱に頭をもたせかけるセーラ　――間――　眼をあけ、下を見て唇をかみしめる		
169	下を見ているセーラ　T・B 暗い階段		

170	——間—— ゆっくりと、ゆっくりと階段を降りて行く		
171	壁に片手をつけて降りてくるセーラ		
172	降りていくセーラ		
173	二つの扉 開く扉——セーラが扉をゆっくりと開けている		S・E（足音、ゆっくりと近づいて来る） S・E（ガチャ）
	A・C		
174	開いていく扉　さしこむ光		
175	セーラ、目を細めて見る		
176	三階の廊下　元のセーラの居室の扉が、いくらか開いている 扉を閉める		S・E（ギーバタン）
177	扉を閉め、ノブを後手にして寄りかかるようにして、うつむいて立つセーラ　セーラ、ややあ		

	ってから手前に歩き出す		
178	トボトボあるくセーラ FOLLOW→　元の自室の前 少し開いている扉　顔をそらす セーラ		
179	セーラ、目をそらしたまま手前 に来ようとして立ち止る　怪訝 な面持ちをしていたが、扉の方 を見るセーラ		
180	開いている扉から窓が見える		
181	?となって手前に歩いて来て、 うかがうように見るセーラ はっとなって、扉を少し開ける		S・E　（ドタと物音〈※シーザーが立てた物 音〉） セーラ　「……マリエット……?!」
183	扉を開けて部屋に入っていくセ ーラ		
184	入って茫然となるセーラ		

No.	画面		音
	身をもたせかけたのでしまる扉 室内を見廻して		S・E（ガチャ）
185	←PAN　ガランとした室内 ダンロの火はない　窓が開けら れている		
186	寝室の方から姿を現わすシーザー		S・E（カタン）
187	室内を見ながら歩くセーラ シーザー、前に出てセーラを見 つめる		
188	見つめるシーザー		
189	物淋しげに見廻すセーラ 足許を見る		
190	ジュータンのはがされた床（板 です）　シーザーがセーラを見 つめている		
191	床を見つめるセーラ　ひたいの		

	髪の毛が揺れる　顔を上げる		
192	窓に寄るセーラ　やや明るい顔で見廻す		
193	春の芽ぶいた広場の樹々 PAN←		
194	目をつむり、大きく深呼吸する 風が髪をなびかせる セーラ、下を見てはっとなる		セーラ「スーーッ、ハーー」 S・E（馬のいななき）
195	御者、鞭を打つ　動き出す荷車にはセーラの家財道具がつまれている　進む馬車		馭者「それっ」
196	回る車輪と積まれた荷物 FOLLOW←		
197	FOLLOW↑　荷車に積まれたセーラの家具		
198	顔を乗りだすように見送るセー		

	ラ　小さく吐息をする		セーラ「フーーッ」
199	扉開いて、セーラ、廊下に出る 隙間を縫うようにシーザーがノッソリと出てくる　名残り惜しそうに部屋をのぞいて、扉を閉めて、手前に歩き出すセーラ シーザー、振り返り見ていたが、手前にのっそりと歩き出す		S・E（ガチャ） S・E（ガチャ）
200	一階の廊下　シーザーが降りてくる　続いてセーラが降りて来る		
201	降りてくるセーラ　院長室の扉が開く　思わず立ち止るセーラ シーザー、素早く院長室へ走りこむ　部屋より出てくるマリエット、トランクと帽子をもっている		S・E（ガチャ）
202	驚くセーラ		セーラ「マリエット!!」

No.	画面		台詞
203	扉を閉めながら振り返り、驚く マリエット、困惑の態で 顔をそらし、うつむく		マリエット「お嬢様!!」
204	セーラ、急いでマリエットに近 づく　返答に困り、セーラに背 を向け　セーラ、マリエットの 背を見つめていたが、目を下に 移す		セーラ「マリエット!!……どこへ行くの」 マリエット「は……はい……私……院長先生に ……ここを辞めるように
205	手にした帽子とトランク		(off) 申されまして……」
206	ギクリとして顔を上げるセーラ 苦しそうな表情のマリエット 台詞の間に唇をかみしめ、目を 細め、口惜しそうな表情のセー ラ　台詞をいいながらマリエッ トの前へ廻るセーラ		セーラ「……え!……」 マリエット「それでどこか仕事をみつけるつも りで……」 セーラ「許して!
207	マリエットにしがみつくセーラ		マリエット……やっぱり……私のせい で……!!」
208	マリエット、淋しげな顔でやさ		マリエット「とんでもございません、お嬢様の

No.	画面		台詞・音
	しく だんだん涙声になってくる		せいだなんて……私、お嬢様のおそばにいられた事だけでも……どんなに感謝していたか知れないんです」
209	うれしいセーラ　マリエットの胸に顔をうづめるセーラ		セーラ　「マリエット！」
210	マリエットの目に涙が浮んでくる		マリエット「私……お嬢様のことが……」
211	トランク、帽子をはなし、手上へ行く		S・E　（ドタン!!）
212	A・C 激情にかられ、セーラを強く抱きしめるマリエット		マリエット「……悲しくって……！」 ――（間）―― S・E　（扉の開く音、ガチャ）
213	キーッとなるミンチン		ミンチン「マリエット!!　なにをしているんです」
214	離れる二人		マリエット「は…はい……お嬢様とお別れを…」
215	ミンチン、厳しい口調で		ミンチン「お前は、もうこの子の専属メイドで

	216	A・C	217	218	219	220
	マリエット、セーラの方を見て、やさしく肩を抱く　セーラのひたいにキッスをするマリエット　離れて見つめ合う二人　涙がにじむマリエット　絶えきれずに同時に抱き合う		抱き合うマリエット、セーラ	抱き合う二人をいらいら見つめるミンチン　空咳をするミンチン　離れる二人　マリエット、トランクと帽子を持つ	マリエット、見つめていたが、目をそらして、さっと手前に歩き出す　振り返り、見送るセーラ	階段の方へ向うマリエット
はないんです。早く出てお行き！」	マリエット「は…はい……。では……お嬢様!!　お元気で……」			ミンチン「エヘン!!」		

	階段の途中で振り返り、止る		
221	見つめているセーラを見ているマリエット　振り返ると目に涙が浮び、涙一滴、頬を伝う 涙をこらえて階段を降りていく		
222	見送っているセーラ 振り返るセーラ		ミンチン(off)「なぜ、起きたらさっさと私の所へ来ないのです」 セーラ　「は、はい!!」
223	イラつくミンチン		ミンチン「なんです！　いつまでもそんな黒いリボンなんかつけて」
224	セーラ、必死に説明する		セーラ　「でも……これは、なくなったお父様のために」
225	あざわらうミンチン		ミンチン「フン、お前の父親は破産して死んで…」
226	セーラに一歩二歩と迫るミンチン		ミンチン「私の学校にまで迷惑をかけたんですよ。そんなものをつけたって、誰が同情などするものですか！」

227	高圧的なポーズになるミンチン 悲しく首を振るセーラ		ミンチン「はずしなさい！」
228	ミンチン、ギリギリと表情が鋭くなって		ミンチン「強情な子ね……お前がここにいられるのは、私のお情けだということを 〜
229	リボンをにぎりしめるセーラ、毅然と　しかし、訴えるような目をしている		(off) 忘れたんですか……外すんです」 セーラ「い……いやです……」
230	正面玄関・横（外）　マリエットが上っていく		
231	マリエット、学校の方を見つめて　泣きそうな顔である		マリエット「お嬢様、さようなら」
232	学校を見つめていたが、立ち去っていくマリエット		
233	後ろ姿のマリエット　途中、学校を見上げる		
234	ミンチン、根負けし、ため息つ		ミンチン「ふう〜」

	く　ちょいと天をあおぎ		
235	セーラをうながして地下に向う		ミンチン「では、勝手にするがいい…… さ！　来るんです」
236	地下室への階段口に立つミンチン　セーラ来て、ミンチンのそばに立つ　二人、出て来て、ミンチンの前に立ち、会釈する		ミンチン「モーリー、ジェームス！」 ジェームス(off)「は、はい、ただいま！」 モーリー「はーい、院長先生！ おまたせしました、院長先生」 ミンチン「……この子は今日から…… ～
237	ジロリとセーラを見るミンチン		台所メイドに使う事にしましたからね」
238	顔を見合わせるモーリー、ジェームス		二人「ん？」
239	二人、ミンチンの方を見る 意地悪そうな目でセーラを横目で見つつ…… 二人、叩頭する　ミンチン、セーラを見つめながら去る　顔を見合わせる二人		ミンチン「遠慮はいりません、ベッキーと同じように厳しく使うように……判りましたね」 モーリー「は、はい、院長先生……」

240	ジェームス、セーラの方を見て モーリー、小突く　驚き、モー リーを見るジェームス　ニヤリ とするジェームス　帽子を冠り、 セーラの方を見て、にやりとし て	ジェームス「おい、お嬢さん!!」 モーリー「馬鹿だね、セーラでいいんだよ」 ジェームス「おっと……そうだった…… 〜 セーラ……!」
241	返事するセーラ	セーラ「はい」
242	ジェームス、ごきげんになり 顔を見合わせて笑い合う二人 ジェームス、セーラを見て 満足げにうなづく二人	ジェームス「へへへ……悪くねェ気分だ……へ へへ…… これからたっぷりこき使ってやるから な」 セーラ「はい、ジェームスさん」
243	散らかっている食卓	
244	扉が開き、モーリーとセーラが 入って来る　モーリー、手前に 歩き出す	S・E（ガチャ） モーリー(off)〜(on)「さあ、きのうまでの友だちの 後かたづけからはじめてもらおうかねェ」 セーラ「はい」
245	散らかっているテーブルの前に	モーリー「食べ残しはあとでお前の食事になる」

	来るモーリー、顔をしかめて眺め回す　セーラ、入って来る		んだから、粗末にするんじゃないよ」 セーラ「はい」←〜
246	入ってくるベッキー　止って籠をおろす		
247	唖然となっているベッキー		ベッキー「お嬢様?!」
248	セーラ、モーリー、振り向く ジロリとなって 悪態ついて話すモーリー		モーリー「お嬢様だって…… フン……今日からこの子はお前と同じなんだよ。お嬢様だなんて私の前で呼んだら、承知しないからねー！」
249	ビビって返事するベッキー		ベッキー「は……！　はい！」
250	モーリー、扉の方へ向いながら ベッキー、籠を捨い、手前に走る		モーリー「さあさあ……二人共、早く片付けるんだよ」
251	扉の所へ来て、振り返り見るモーリー		S・E　（食器を片付ける音、ガチャ、ガチャ）

252	片付けている二人（セーラ、ベッキー） 籠に食器を入れている		
253	にやりと満足げに笑い、去るモーリー		モーリー「フフッ」
254	水槽に皿やカップ等、食器類水があけられる 浮く皿		S・E （ザ——ッ）
255A	水桶を降ろすベッキー 腕まくりをはじめるセーラに、小声でベッキー、声をかける		ベッキー「お嬢様……」
255B	セーラ、手を止め ベッキー		セーラ「セーラでいいのよ、ベッキー」 ベッキー「はい。私、ここでは、ていねいな口はききませんけど、気になさらないで下さいまし」
256	セーラ、うれしそうに口許に浮ぶ笑み		セーラ「わかっているわ、ベッキー」
257	モーリー、ドアの所から怒鳴る		モーリー「何をお喋りしてるんだい！」

	ハッとなり、皿を洗いはじめる 二人　モーリー、と言ってから out		モーリー「セーラ、お前は教室の掃除にかかっ とくれ」 セーラ「ハイ!!」
258	モップとバケツを持って、一階 へ向かうセーラ　バケツには水 が入っている		
259	地下から上って来たセーラ、窓 の外を見る　小鳥が遊んでいる にっこりとして見つめる		S・E　（小鳥、チュンチュン）
260	教室前の廊下　セーラ、バケツ、 毛ばたき等をもって現われ、「は っ」となって立ち止る		S・E　（フランス語の授業がきこえる） 「（ディファルジュ、子供達の声）」
261	セーラ、胸に悲しみがこみ上げ て――うつむいていく ゆっくりT・U		←〜〜 セーラⓂ「みんな勉強しているんだわ……でも ……私は、働くしか……」
262	バケツの水が揺れている		
263	顔を上げて教室の方を見るセー ー		

	ラ		
264	教室の扉 アメリアが鐘を鳴らしながら出て来る		S・E　（授業の声） S・E　（鐘の音、カラン、カラン）
265	はっとなって隠れるセーラ		S・E　（カラン、カラン）
266	戻っていくアメリア　隠れているセーラ　教室の扉が開いて、ディファルジュが出て来る ラビニア、ジェシー、ガートルート、本をかかえて出て来る 手前へ		S・E　（扉の開閉音） 「（生徒達のざわめき、アドリブ）」
267	ラビニアin　セーラに気づき、ニヤニヤ　じろじろ見る　そして、目線を下へ　その間にジェシー、ガートルート、inする		
268	——間——　ぐっとにぎられるセーラの手　バケツの中の水がかすかに揺れる　セーラのプラ		

	イドはもはやずたずた！		
269	勝ち誇っているラビニア、笑う 口許		ラビニア「フフッ」
270	うつむいているセーラ		
271	ラビニア、セーラの周りに集まって来る生徒達		
272	集まる一同　遅れてロッティがやって来る		
273	見つめられ、身をよじるようにして背を向けるセーラ		
274	ラビニア、ゆとりで冷笑する		ラビニア「フフフ……」
275	心配そうに見守るアーメンガード　分け入るようにロッティ来て、はっとなる　扉が開く		S・E　(ガチャ)
276	扉を閉めるミンチン、ワナワナ		ミンチン「何をしているんです！」

カット	内容		台詞
	と震え		
277	振り返り、ミンチンを見つめる 一同　一同、ぞろぞろと去る		ミンチン(off)「さ……みんな、行くんです！」
278	ラビニアとジェシー、顔を見合わせて、にやりとして去っていく　ロッティが走ってセーラに近づこうとする　あわてて止めるアーメンガード　悲しそうに見るセーラ　引きずり、だくようにして連れ去るアーメンガード　見送るセーラ		ラビニア・ジェシー「フフッ」 ロッティ「セーラ!!」
279	べそをかきながら連れられていくロッティ		ロッティ「クスン、クスン」
280	見送るセーラの悲しそうな顔		
281	見送っている二人　ミンチン、inしてくる　ミンチン、セーラの前へ　弱々しく立つセーラ		ミンチン「セーラ！」

282	ミンチン、セーラに鋭く命令する		ミンチン「なにをぐずぐずしてるのです。早く教室の掃除をなさい」
283	セーラ、ミンチン見上げて ミンチン、えばって ミンチン、唖然		セーラ「……院長先生……お願いがあります」 ミンチン「なんです！」 セーラ「私、勉強がしたいんです」
284	はっとなるミンチン		
285	必死に頼むセーラ		セーラ「授業が終ったあと、教室で勉強することをお許し頂けないでしょうか」
281	ミンチン、怒鳴りつける		ミンチン「なにを馬鹿な！ お前はもう自分の置かれた立ち場を忘れたんですか！
282	ひたすら耐えるセーラ 唇をかみしめ、見つめるセーラ うつむいていく		(off) ～ お前は働くことで、ここに置かせてもらっているんですよ。さっさと仕事をしなさい！」
283	ミンチン、怒りがおさまりきらぬ感じでにらむ T・B アメリア、入ってくる		ミンチン「アメリア」 アメリア「はい、お姉様」

284	悲しみのセーラに、offのミンチン、ヒステリックに ゆっくりT・U		ミンチン(off)「アメリア……生徒たちにセーラと親しく話をしたりせぬように、厳しく注意なさい」
285	ミンチン、ワナワナ震えている		ミンチン「女の子はあわれな物語にあこがれやすいものです。セーラが自分の身の上をロマンチックに話すのを聞かせたら、 〜
286	セーラに告げるミンチン		(off)　他の生徒に悪影響がありますからね」 アメリア(off)「は、はい、お姉様」 S・E　(足音)
287	バタンと閉まる扉 うなだれ立つセーラ		S・E　(バタン)
288A	うなだれているセーラ　T・U		
	O・L		
288B	教室の床におかれたバケツ(中の水はタポンタポンゆれている)		
289	一人ぽつんと掃除するセーラ		
290	床を一生懸命拭くセーラ		セーラ(M)「お父様……私は一人ぼっちでも、勉

291

O・L

セーラにゆっくりT・U
F・O

強を続けるつもりです……
〜
……そう、自分の心をささえ続けるた
めに」

〈おわり〉